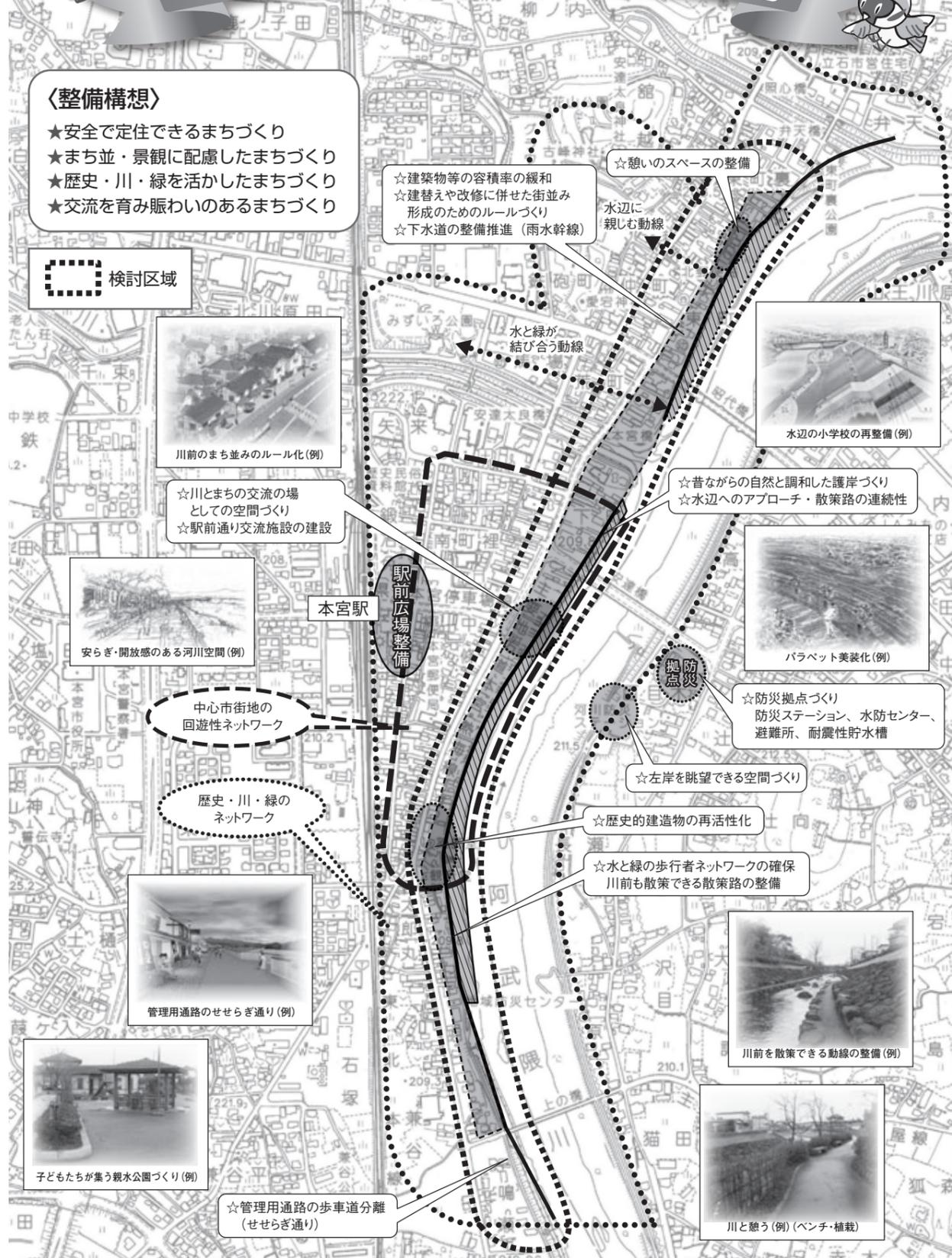


# 本宮左岸地区のまちづくり構想図

## 〈整備構想〉

- ★安全で定住できるまちづくり
- ★まち並・景観に配慮したまちづくり
- ★歴史・川・緑を活かしたまちづくり
- ★交流を育み賑わいのあるまちづくり

検討区域



## 阿武隈川築堤に向けた準備を進めています



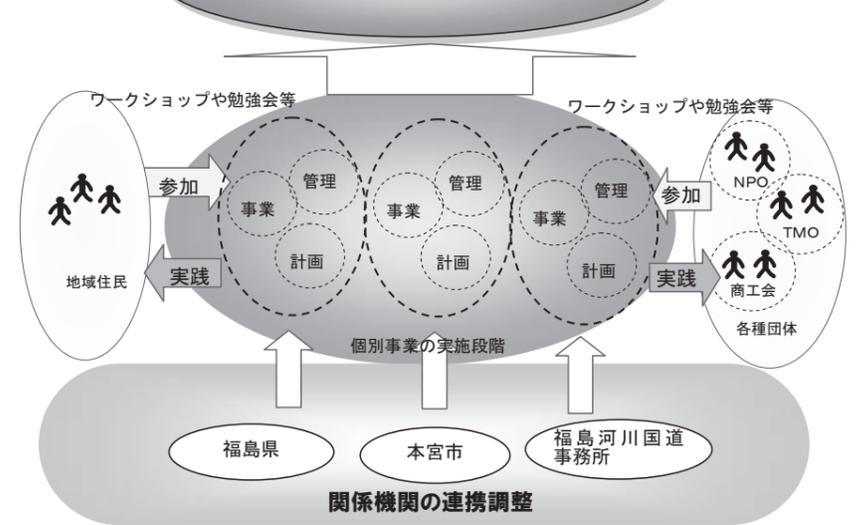
「阿武隈川本宮左岸地区治水対策と一体となったまちづくりへの提言が提出されました。」

本宮市を流れる阿武隈川の本宮左岸地区は中心市街地に位置しており、洪水氾濫による被害の大きさが極めて高い地区となっています。

本宮左岸地区は、阿武隈川と市街地や街路が隣接する地形条件から市街地への影響が大きい。治水対策の実施にあたっては、河川事業のみならず、阿武隈川に接する住宅・商業地さらに街路等を含めた総合的なまちづくりの計画が必要となりました。

このため、まちづくりと一体となった治水対策の計画検討を目的に、地域住民の代表、学識経験者、本宮市、福島県、国土交通省により構成された「阿武隈川本宮左岸地区まちづくり懇談会」において、昨年10月から3回にわたる議論・検討がなされ、また、「意見を聴く会」において流域にお住まいの方々からいただいたご意見・ご要望を踏まえた検討を行い、3月27日開催された第4回の懇談会において提言が取りまとめられました。

### 本宮左岸地区 治水対策と一体となったまちづくりの実現



まちづくりにおける関係機関や地域住民などの連携による事業の進め方イメージ図

した。

提言では、「治水対策と一体となってまちづくりを進めることが必要であり、各事業主体が連携・調整を図るとともに、事業実施、維持管理などの各段階における積極的な住民参加を図っていくことが望まれる。」との内容で提言をいただきました。

なお、本宮左岸地区の堤防整備は、百目川から鳴瀬までの約2・2キロメートルの区間が予定されています。